

ふれあいのまちづくり事業 地域社会を明るくする街灯設置他

施設設立を目指した活動の一環として始まったバザーだが、現在では地域の方々、利用者の家族、他の社会福祉法人など様々な人達の交流の場となっている。活動には多くの方が関わっており、当日は1,000人以上の大きな規模のイベントとなる。また売り上げは、地域福祉の向上のため、街灯設置（地域のニーズ）等の地域環境改善のために寄付している。

社会福祉法人 **同仁会**

〒706-0143 岡山県玉野市木目1461

TEL：0863-71-0110 / FAX：0863-71-3516 / E-Mail：do-nozomi@mx61tiki.ne.jp

【法人の概要】

法人設立年：平成元年4月

経営事業（数）：6事業

経営施設、事業（種別）：

知的障害者入所更生施設／知的障害者通所更生施設／地域活動支援センター／就労継続支援事業／短期入所事業／相談支援事業

【法人の理念・経営方針】

1. 基本的人権の理念

私たちは、人間同士の関わりが中心となる仕事に就くものとして、愛情と忍耐と使命感のもと、お互いの人格を尊重し合い、利用者の基本的人権と尊厳が損なわれないようにしていきます。

2. 共同と連帯の理念

私たちは、障害者、健常者、家族、地域の共同と連帯を目指し、人としての価値は常に平等であり、地域の住民という役割を果たせるよう、社会参加実現に向けて支援していきます。

3. 自立の理念

私たちは、障害者が一人の人間として地域で生活をするために、個々の目標とニーズに基づき、「自立」に向けて現実的・具体的な生活力がつくよう支援していきます。

実施施設の概要

施設名：のぞみ園

施設種別：知的障害者入所更生施設

活動開始年：平成元年4月

活動の頻度・時間：1～7月は月に1～2日、8～12月には週4日8時間、前当日は一日接客や販売の活動

活動の対象者：近隣の岡山市や倉敷市、玉野市内全域の企業、商店、個人他一般市民

活動実施の背景、実施にいたった理由

のぞみ園は平成元年の開園であるが、他の多くの施設と同様に、法人の設立、事業認可等に至る長い過程があり、開園からさかのぼること何年間も育成会のメンバーを中心に設立に向けた取り組みを展開していた。その取り組みの一環として、地域の障害者福祉に対する理解を進めることと、設立資金作りのためにバザーに取り組んできた。

当初より、地元の学校や団体、商店などを趣意書片手に、保護者が手弁当で一軒一軒回っていた。努力のかいがあり、のぞみ園が設立され、活動の主体は保護者会を経て、現在では玉野市のふれあいまちづくり事業として、法人内の各事業所、利用者の家族会組織、他の法人や地域の有志等を構成メンバーにした実行委員会に引き継がれている。

施設設立を目指した活動の一環として始まったバザーだが、性格は地域の福祉の増進、生活環境の改善、災害時の共助活動としての性格を帯びようになってきた。

実施内容

まず、地域の学校や企業そして個人の有志に働きかけ、品物を無償で提供していただく。そのために、福祉の状況やチャリティーバザーの目指すところを説明し、知って頂く協力依頼の訪問活動を行う。また、リサイクル素材として頂いた反物等を利用して家族の有志が作る製品もある。これらの活動には期間を通じて多くの家族・ボランティアが関わる。

当日は1,000人以上の大きな規模のイベントとなるが、これらの活動等には関係者以外にも社協を通じて集まったボランティアが協力する。こうして多くの品物が用意されるが、パンや焼き菓子、畑でとれた野菜、手作り作品（縫製）など利用者が働いて作った商品は、販売を通じて利用者の活動の理解に寄与する。また当日には山菜おこわの販売や餅つきの実演販売などイベントとしても地域の皆さんに楽しまれている。

売り上げは玉野市を通じて、地域福祉の向上のため、街灯設置等の地域環境改善のために寄付されるが、災害等の

おきたときには、被災者支援を優先する。

活動効果

一昨年の台風では玉野市をはじめとして高潮等による大きな被害を出した。この年のバザーは台風被害の人達への支援を全面に掲げ、岡山県、岡山市、倉敷市、玉野市に約300万円の義援金を送ることができた。また地域の遊歩道には街灯がなく夜は懐中電灯が頼りで、街灯の設置は市民の要望であった。そこで街灯設置のための寄付を毎年計画的に行い地元から喜ばれている。もちろん地域の障害者福祉の向上のためにも寄付している。

また、バザーに品物を提供してくださる人達は、自分たちの品物が売れる喜びと共に福祉を担っている喜びを感じてくれている。これは提供してくれる人に共通の思いであろう。さらに企業からの物品提供では企業として廃棄する品物がリサイクルされることで、資源を大切にしている活動に繋がっている。

一方では近年、愛育委員の有志が実行委員会に参加したり、会場で地域の小規模作業所や他の法人が独自で販売する等、地域の有志や事業所間のネットワークの先駆けとなった。

今後の課題

今日までの活動により、バザー当日を頂点に、その日に向けた取り組みとその後の取り組みを通じたネットワークやリサイクルの流れができてきた。幸い当法人では、決して大きくはないが使用できるスペースを確保している。この流れを恒常的な物にして、リサイクル素材の提供とそれを生かした利用者作業の創出、法人内外のオリジナル商品作りと販売事業のネットワーク化、福祉に関わる人達の交流の場の確保、自立支援協議会等のネットワーク作りが今後の課題と考えている。また、地域環境改善に向けて、防犯用街灯の設置をすすめるため市に寄付してきたが、遊歩道と共に農道にも街灯設置をすすめていきたい。

主な経費や財源の内訳（年間あたり）

<主 な 経 費>	<概算額>
職員人件費	¥4,500,000
ボランティア経費（弁当代等）	¥262,850
材料費	¥573,911
交通費	¥43,587
光熱費	¥7,350
謝礼代等	¥10,910
郵送費	¥49,230
事務費	¥50,000
<合 計>	¥5,497,838

<主 な 財 源>	<概算額>
・法人本部負担額	¥0
・施設負担額	¥4,500,000
・利用者負担額	¥0
・補助金収入	¥0
・その他の収入（バザー収入等）	¥1,383,438
<合 計>	¥5,883,438

○地域環境整備資金

<主な配分先>	<配分額>
玉野市へ街路灯設置資金として	¥350,000
庄内地区愛育委員会へ移動式血圧計 2台	¥35,600